

政策体系	基本目標名	4	豊かな心を育み、学び合うまちづくり	施策主管課長	学校教育課
	政策名	1	豊かな心と確かな学力を育むまちづくり		
	施策名	1	特色ある教育と心の教育の推進		
施策関係課	教育総務課、教育センター、生涯学習課			松島 繁夫	

1. 施策の目的と成果把握

施策の目的「対象」	この施策は、誰、何を対象としているか	対象指標				単位	H30	R1	R2	成果指標設定の考え方		
	①市立学校児童生徒 ②市立学校教職員	① 児童生徒数 ② 教職員数 ③ ④	人	8625	8377							
施策の目的「意図」	この施策によって、「対象」をどういう状態にするのか	成果指標(意図の達成度を表す指標)				区分	H30	R1	R2	R3	成果指標の取得方法	
	①児童生徒が、「確かな学力」「健やかな体」「豊かな心」をしっかりと身に付ける。 ②教職員が研修を重ね、時代の変化に対応できる指導力を身に付ける。	① 全国学力調査平均正答率の全国平均との比較 ② 新体力テストの平均得点の全国平均との比較 ③ 「きまりや規則を守っている。」と答えた児童生徒の割合 ④ 「自分と違う意見も尊重している。」と答えた児童生徒の割合 ⑤ 研修を通して指導力が向上したと考える教職員の割合	目標実績	点	-2.0 -1.6		-1.0 -0.5	-0.5 ±0	±0 1.5	93.5 94.7		94.0 96.8

2. 基本事業の目的と成果把握

基本事業名	対象	意図	成果指標	区分	単位	H30	R1	R2	R3	基本事業名	対象	意図	成果指標	区分	単位	H30	R1	R2	R3
生きる力の育成	児童生徒	「確かな学力」「健やかな体」「豊かな心」が身に付く。	① 全国学力調査平均正答率の全国平均との比較	目標実績	点	-2.0 -1.6	-1.0 -0.5	-0.5 ±0	±0	小中一貫教育の推進	教職員	小中一貫教育を通して、学力向上・体力向上・豊かな心の育成を図る。	① 教科の接続等について、中学校と連携している小学校の割合	目標実績	%	90.0 96.2	91.0 96.1	92.0	93.0
			② 新体力テストの平均得点の全国平均との比較	目標実績	点	±0 -1.2	0.5 -0.4	1.0	1.5	②			目標実績						
			③ 英検3級程度以上の英語力を身に付けている生徒の割合	目標実績	%	35.0 38.5	40.0 33.2	45.0	50.0	③			目標実績						
教職員の資質の向上	教職員	時代の変化に対応した指導ができる。	① 「先生の授業が分かりやすい。」と答えた児童生徒の割合	目標実績	%	95.0 90.7	95.5 93.1	96.0	96.5	特別支援教育の推進	特別支援教育が必要な児童生徒	個に応じた指導を受けることができる。	① 個別の教育支援計画を作成した児童生徒の割合	目標実績	%	27.8 64.2	31.9 66.8	36.1	40.3
			② 英語のパワーアップ研修に参加した教職員数(延べ人数)	目標実績	人	50 40	60 24	65	70	②			目標実績						
			③	目標実績						③			目標実績						

3. 施策及び基本事業の目標達成度評価

施策	令和元年度施策の取組方針		施策の取組方針・成果指標達成状況					
	取組方針	成果指標	取組方針	成果指標	達成状況	達成状況		
施策	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童生徒の学力・体力向上・豊かな心の育成に向け、各調査結果を分析して、「一校一改革・一挑戦」の取組を進めるとともに、さわやか教育指導員等を各学校の実情に応じて配置する。</li> <li>小学校における英語の教科化に向け、教員研修の充実やALTの適正な配置など、英語教育の充実を図る。</li> <li>小中一貫教育において、教育課程の編成や教育内容の充実など、各推進ブロックで特色ある取組を推進する。</li> <li>特別支援教育の充実を図るために、個別の教育支援計画作成の取組を推進する。</li> <li>業務改善などにより、教職員の働き方改革に取り組む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>全国学力・学習状況調査等の結果を分析し、その傾向や改善点を明確に示すことにより、各学校で実践している「学力・体力向上のための一校一改革・一挑戦」の更なる推進を図る。</li> <li>さわやか教育指導員等を児童生徒の実態に応じて配置するとともに、有効な活用を通して、個に応じた支援の充実を図る。</li> <li>ALT(外国語指導助手)の効果的な活用や英語体験学習会の開催などにより、児童生徒の英語によるコミュニケーション能力の育成を図る。</li> </ul>	<input checked="" type="checkbox"/> 全て達成 <input type="checkbox"/> 一部未達成 <input type="checkbox"/> 全て未達成	<input checked="" type="checkbox"/> 全て達成 <input type="checkbox"/> 一部未達成 <input type="checkbox"/> 全て未達成	【施策の取組方針達成状況】 ・全国学力・学習状況調査等の分析結果を踏まえ、各校において「一校一改革・一挑戦」の取組を進め、その成果を市内全校で共有すると共に、個々の児童生徒の状況に応じた支援の充実を図るため、全校にさわやか教育指導員を配置できた。 ・ALTを増員すると共に、小学校教員海外派遣事業及び佐野日本大学短期大学との連携による英語授業研修により教員の資質向上を図ることができた。 ・あそ野義務教育学校開校に向けて、教育課程の編成や教育内容について、検討を重ね、特色ある教育課程を完成させ、令和2年度の開校を迎えることができた。 ・教育センターにおいて、個々の児童生徒の個別の教育支援計画について、指導助言を行った。 ・教職員の時間外勤務状況を把握し、各校の実情に応じた働き方改革に向けた業務改善を進めた。	【成果指標達成状況】 ・全国学力・学習状況調査は全国とほぼ同程度まで向上してきたが、新体力テストは目標に届かなかった。 ・児童生徒を対象とした「豊かな心(規範意識、他者尊重)」に関するアンケートでは、全国の結果を上回る良好な結果となり、豊かな心の育成の取組についての成果が確認できた。		
			<input checked="" type="checkbox"/> 全て達成 <input type="checkbox"/> 一部未達成 <input type="checkbox"/> 全て未達成	<input checked="" type="checkbox"/> 全て達成 <input type="checkbox"/> 一部未達成 <input type="checkbox"/> 全て未達成	【基本事業の取組方針達成状況】 ・各種調査の結果を踏まえ、「一校一改革・一挑戦」の取組を全校で進め、その成果を市内全校で共有することで、さらなる改善を図ることができた。 ・さわやか教育指導員の配置によって、通常学級における特別な教育的支援が必要な児童生徒に対する指導が十分にできた。 ・ALTの増員による外国語(英語)の授業の充実や佐野日本大学短期大学との連携による小学生対象のイングリッシュキャンプの実施などにより、特に英語によるコミュニケーション能力の育成を図る取組を充実させることができた。 【成果指標達成状況】 ・全国学力・学習状況調査や新体力テストは全国とほぼ同程度まで向上してきたが、新体力テストは目標に届かなかった。 ・英検3級程度以上の英語力を身に付けている生徒の割合については、目標には達しなかった。	<input checked="" type="checkbox"/> 全て達成 <input type="checkbox"/> 一部未達成 <input type="checkbox"/> 全て未達成	<input checked="" type="checkbox"/> 全て達成 <input type="checkbox"/> 一部未達成 <input type="checkbox"/> 全て未達成	【基本事業の取組方針達成状況】 ・施設分離開の各推進ブロックにおいて実践される小中一貫教育において、教育課程の編成や教育内容の充実、児童生徒の交流や教職員の研修などを計画的に推進する。 ・令和2年度のあそ野学園義務教育学校の開校に向けて、教育課程を完成させる。

基本事業	令和元年度基本事業の取組方針		基本事業の取組方針・成果指標達成状況					
	取組方針	成果指標	取組方針	成果指標	達成状況	達成状況		
基本事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>全国学力・学習状況調査、とちぎ子ども学習状況調査等の結果を分析し、その傾向や改善点を明確に示すことにより、各学校で実践している「学力・体力向上のための一校一改革・一挑戦」の更なる推進を図る。</li> <li>さわやか教育指導員等を児童生徒の実態に応じて配置するとともに、有効な活用を通して、個に応じた支援の充実を図る。</li> <li>ALT(外国語指導助手)の効果的な活用や英語体験学習会の開催などにより、児童生徒の英語によるコミュニケーション能力の育成を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>全国学力・学習状況調査等の結果を分析し、その傾向や改善点を明確に示すことにより、各学校で実践している「学力・体力向上のための一校一改革・一挑戦」の更なる推進を図る。</li> <li>さわやか教育指導員等を児童生徒の実態に応じて配置するとともに、有効な活用を通して、個に応じた支援の充実を図る。</li> <li>ALT(外国語指導助手)の効果的な活用や英語体験学習会の開催などにより、児童生徒の英語によるコミュニケーション能力の育成を図る。</li> </ul>	<input checked="" type="checkbox"/> 全て達成 <input type="checkbox"/> 一部未達成 <input type="checkbox"/> 全て未達成	<input checked="" type="checkbox"/> 全て達成 <input type="checkbox"/> 一部未達成 <input type="checkbox"/> 全て未達成	【基本事業の取組方針達成状況】 ・各種調査の結果を踏まえ、「一校一改革・一挑戦」の取組を全校で進め、その成果を市内全校で共有することで、さらなる改善を図ることができた。 ・さわやか教育指導員の配置によって、通常学級における特別な教育的支援が必要な児童生徒に対する指導が十分にできた。 ・ALTの増員による外国語(英語)の授業の充実や佐野日本大学短期大学との連携による小学生対象のイングリッシュキャンプの実施などにより、特に英語によるコミュニケーション能力の育成を図る取組を充実させることができた。 【成果指標達成状況】 ・全国学力・学習状況調査や新体力テストは全国とほぼ同程度まで向上してきたが、新体力テストは目標に届かなかった。 ・英検3級程度以上の英語力を身に付けている生徒の割合については、目標には達しなかった。	<input checked="" type="checkbox"/> 全て達成 <input type="checkbox"/> 一部未達成 <input type="checkbox"/> 全て未達成	<input checked="" type="checkbox"/> 全て達成 <input type="checkbox"/> 一部未達成 <input type="checkbox"/> 全て未達成	【基本事業の取組方針達成状況】 ・通級指導教室に関わる担当者会議と連絡会議や特別支援教育コーディネーター連絡会議において、「個別の教育支援計画」の作成について、十分な周知を図るとともに、作成された計画について、教育センターで指導助言を行った。 ・学校の実情に応じ、随時巡回相談を実施し、特別な教育的支援が必要な児童生徒の支援について、充実を図ることができた。 【成果指標達成状況】 ・教育センターからの助言や巡回相談の結果等も踏まえ、各学校では積極的に「個別の指導計画」を活用し、個別の教育支援計画の作成に結びつけてきた。このことにより目標値を大きく上回った。
			<input checked="" type="checkbox"/> 全て達成 <input type="checkbox"/> 一部未達成 <input type="checkbox"/> 全て未達成	<input checked="" type="checkbox"/> 全て達成 <input type="checkbox"/> 一部未達成 <input type="checkbox"/> 全て未達成	【基本事業の取組方針達成状況】 ・施設分離開の各推進ブロックにおいて実践される小中一貫教育において、教育課程の編成や教育内容の充実、児童生徒の交流や教職員の研修などを計画的に推進する。 ・令和2年度のあそ野学園義務教育学校の開校に向けて、教育課程を完成させる。	<input checked="" type="checkbox"/> 全て達成 <input type="checkbox"/> 一部未達成 <input type="checkbox"/> 全て未達成	<input checked="" type="checkbox"/> 全て達成 <input type="checkbox"/> 一部未達成 <input type="checkbox"/> 全て未達成	【基本事業の取組方針達成状況】 ・通級指導教室に関わる担当者会議と連絡会議や特別支援教育コーディネーター連絡会議において、「個別の教育支援計画」の作成について、十分な周知を図るとともに、作成された計画について、教育センターで指導助言を行った。 ・学校の実情に応じ、随時巡回相談を実施し、特別な教育的支援が必要な児童生徒の支援について、充実を図ることができた。 【成果指標達成状況】 ・教育センターからの助言や巡回相談の結果等も踏まえ、各学校では積極的に「個別の指導計画」を活用し、個別の教育支援計画の作成に結びつけてきた。このことにより目標値を大きく上回った。

4. 施策の基本情報

施策の基本情報	社会情勢変化、国・県の動向、市民・議会意見等	施策の成果向上に向けての役割分担		
		市民	事業所(学校)	行政
施策の基本情報	<ul style="list-style-type: none"> <li>現行及び次期の学習指導要領において、「確かな学力」「健やかな体」「豊かな心」の育成が求められている。また、保護者や議会からも、児童生徒の学力・体力向上、健全育成に関する要望がある。</li> <li>小学校における英語の教科化に向けての研究が進められている。</li> <li>県内を含め全国各地において、小中一貫教育が進められ、義務教育学校が開校している。なお、本市2番目の義務教育学校として開校予定の葛生義務教育学校については、令和元年東日本台風の影響から、開校が一年延期となり令和5年の開校となった。</li> <li>特別支援教育については、国においてガイドラインが策定されるなど、体制及び内容の充実が図られている。</li> <li>新型コロナウイルス感染症対策として、臨時休業が行われたり、学校における新しい生活様式が示され、学力・体力向上に向けた児童生徒への指導・支援の在り方、及び教職員研修の在り方について見直しが必要となった。また、渡航制限が行われていることから、海外からのALTの人材確保が困難になる。更には、再度の臨時休業の場合にも、児童生徒の学びを保障することができるよう、ICTの活用も含め、準備を進めることが求められている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童生徒は、自ら生活習慣及び学習習慣を確立させる。</li> <li>保護者は、家庭教育の充実を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学力及び体力向上のための「一校一改革・一挑戦」を充実させる。</li> <li>教職員の研修に努める。</li> <li>推進ブロックごとに、実態に応じた小中一貫教育を推進する。</li> <li>「個別の教育支援計画」を作成し、具体的な支援を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各学校が行っている学力・体力向上のための「一校一改革・一挑戦」を支援する。</li> <li>学校訪問等を通して教職員の指導力向上のための指導助言を行うとともに、研修の充実を図る。</li> <li>各推進ブロックが取り組んでいる小中一貫教育を支援する。</li> <li>「個別の教育支援計画」の作成を支援する。</li> </ul>

5. 施策全体の総括・今後の課題・今後の方向性

施策の成果実績と施策の基本情報及び施策コストに関する全体総括	今後の課題	今後の方向性
<ul style="list-style-type: none"> <li>佐野市総合学力調査及び体力テストの結果を分析し、学力及び体力の向上策を資料等を各学校に配布したり、指導主事や学校教育指導員等が学校を訪問し指導助言を行うことで、授業等の充実や改善を推進した。、全国学力・学習状況調査や新体力テストの結果は、向上傾向が続き、全国とほぼ同程度までになった。</li> <li>令和2年度の小学校学習指導要領改訂を踏まえ、特に英語教育の充実を目指し、小学校教員の海外派遣研修、佐野日本大学短期大学と連携した教員研修事業及び小学生対象イングリッシュサマーキャンプ、ALTの増員、更にはパワーアップ研修を実施した。また、研修の機会が多岐に渡ったことから、時間外の任意参加研修であるパワーアップ研修の参加者は減少した。</li> <li>さわやか教育指導員、さわやか健康指導員、特別支援学級支援員の配置については、各学校の状況を踏まえ、配置を決定した。さらに、資質の向上を目的とした研修会を開催した。</li> <li>各学校で策定した小中一貫教育グランドデザインに基づき、各推進ブロックにおいて工夫した取組が見られた。また、実践成果を資料にまとめ、市内全校に配布し、更なる充実の参考資料として活用することができた。</li> <li>あそ野学園義務教育学校の令和2年開校に向けて、関係校で検討を重ね、小中一貫教育の利点を生かした特色ある教育課程が編成された。また、葛生義務教育学校についても令和5年の開校に向け、教育目標の検討等、基本的な事項についての検討が始まった。</li> <li>個別の教育支援計画の作成については、特別支援教育コーディネーター連絡会議等で内容についても共通理解を図ると共に、個々の児童生徒の実態に即した計画となるよう、巡回相談等の機会に指導助言を行った。</li> <li>施策コストについては、平成30年度368,522千円に対し、令和元年度374,729千円であり、6207千円の増額(対前年度比102%)であった。この主な要因は、ALTの増員及び佐野日本大学短期大学英語教育連携事業、小学校教員海外派遣研修事業など、英語教育の充実を図る事業の予算を増額したり新規事業を実施したためである。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【令和2年度で解決する課題】 ・新型コロナウイルス感染症対策として実施された臨時休業に伴う学びの保障</li> <li>【令和3年度以降にも引き継がれる課題】 ①市内全小中義務教育学校における小中一貫教育の充実 ②教職員の働き方改革の実施 ③特別な支援が必要な児童生徒に対する取組の充実 ④さわやか教育指導員、さわやか健康指導員、特別支援学級支援員の適切な配置、ALTの採用の在り方の検討・実施 ⑤臨時休業の際の学びの保障の手立てとしてのICTの活用 【令和3年度重点課題】 ⑥新型コロナウイルス感染症対策として、学校における「新しい生活様式」を踏まえた児童生徒への指導支援、及び教職員研修の実施 ⑦葛生義務教育学校の教育理念(学校教育目標等)の策定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①あそ野学園義務教育学校における実践の成果を市内全小中学校で共有し、各推進ブロックの小中学校の状況に応じた特色ある小中一貫教育を推進する。</li> <li>②教職員の働き方改革として、新型コロナウイルス感染症対策としての校務の見直しを契機として、教員の時間外勤務削減を図り、教員がゆとりをもって、児童生徒の指導に向き合えるようにし、学びの保障を図る。</li> <li>③特別な教育的支援が必要な対象児童生徒全員の個別の教育支援計画の作成を各学校に促すと共に、巡回相談等を活用し、計画の改善する。</li> <li>④さわやか教育指導員、さわやか健康指導員、特別支援学級支援員の配置について、校長との面談等により、学校の状況を把握し、学校のニーズに応じた配置ができるようにする。また、ALTの採用については、新型コロナウイルス感染症の影響を十分に考慮しながら、国内任用に加え、JETプログラム(海外青年招致事業)の活用も検討する。</li> <li>⑤オンライン授業の実施について準備すると共に、ICT環境を整えることが難しい家庭への対応を具体的に定め、再度の臨時休業に備える。</li> <li>⑥国・県の動向等を踏まえ、常時点検見直しを行いながら、学校における「新しい生活様式」を実践する。</li> <li>⑦葛生義務教育学校の教育課程編成の骨子となる学校教育目標を決定し、周知する。</li> </ul>